

平成 29 年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：平成 29 年 5 月 27 日（土）午前 10 時～11 時 45 分

場 所：笠間支所 2 階会議室

出席者：4 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 鳳台院の石楠花の管理について
- 2 笠間郵便局前の道路路肩について
- 3 雨水処理と側溝整備について
- 4 ふるさと納税返礼品について
- 5 スクエア・ステップの活動場所について
- 6 旧井筒屋の活用について
- 7 笠間保健センターで行っていた健康診断について
- 8 石切山脈や西念寺を含めた新たな観光コースの設定について
- 9 カポカ（地域ポイント）について
- 10 農道の道路拡張と土地改良事業について
- 11 人間ドック料金に対する市の助成額について

1 鳳台院の石楠花の管理について

【意見等】

鳳台院の石楠花は素晴らしいが、秋になるとススキやセイタカアワダチソウ等雑草が生い茂っている。観光の動線の一部にもなると思うので、市として何か支援はできないか。

【回答】

基本的に管理は鳳台院が行っているもので、市が支援をすることはありません。ただ、観光 PR の連携として、管理をしている鳳台院の石楠花と笠間稲荷神社の藤、それに笠間つつじ公園のつつじを花祭りということで、鳳台院と笠間稲荷神社の了解の上でパンフレットに掲載をしています。PR は連携しますが、民間で所有しているものを行政が管理することはできません。

2 笠間郵便局前の道路路肩について

【意見等】

市営荒町駐車場や笠間郵便局前の道路の路肩には稲田石（ピンコロ）が敷き詰められていて、自転車で通るには乗り心地が悪いので改善できないか。

【回答】

車道脇の稲田石については、景観形成をする上で、地場産業の笠間焼と稲田石を活用しようと考え設置していて、現在のかたちになりましたので、改修す

ることは考えていません。観光地では歩道に石材等を使い、特色や趣を出している所も多いと思います。観光地としての面を優先した結果なので、ご理解ください。

3 ふるさと納税返礼品について

【意見等】

最近ニュースでふるさと納税の返礼品についてよく耳にするが、笠間市では納税額に対する返礼品の額は何割か。

【回答】

ふるさと納税では、笠間では2割～1割5分程度で、決して多い状況ではありません。今後は3割を返礼品の目安にしようと思っています。

4 雨水処理と側溝整備について

【意見等】

石井地区に住んでいるが、側溝がなく、雨が降ると水が宅地に侵入してくる。平成28年8月11日に側溝整備の要望書を出したが、予算の関係等で先延ばしになった。子供の通学路でもあるし、農業用水になっているところもあり、泥水が流れ込んでくるので、雨水が分散するような側溝を整備してほしい。また、農地を転用して家が建っているところがあるが、道幅がないのになぜ建築許可がでたのか。なお、工事業者に側溝を整備してもらえないか。

【回答】

石井地区の国道旧50号から南に入った道路は狭いため、本来は現在ある3mの道路を4mにして側溝を整備することが必要だと思います。地元の区長を中心に、地域の皆さんが話し合いをして、道路を拡張するための土地を生み出すことをしなければならないと思います。ただ、市としても地形的なものもあるので、区長とも相談して、地元の協力を得て整備していくのがいいのか検討してみます。

また、建築許可については、県の県央建築指導室が許可を出しています。建築基準法上はクリアしており、道幅が狭くても、法の決まりに合致すれば許可を出せます。ただ、建築業者が側溝を整備する義務はありません。

5 スクエア・ステップの活動場所について

【意見等】

健康都市かさまの事業で、スクエア・ステップに参加していて、笠間保健センターで19名が活動している。今年の4月に笠間保健センターから、来年保健センターを取り壊すため、活動する場所を考えてほしいと言われた。あの辺で集まれる場所は消防団詰所の2階ぐらいしかないが、狭く階段も急なので現実的ではない。前に虹の家を使っていたこともあるが、そこも無理になった。笠

間保健センターで活動が続けることはできないか。

また、虹の家は使えないのか。

【回答】

各保健センターは、現在友部駅北口に建設している地域医療センターかさまと統合されます。各保健センターのほか、健康増進課、地域包括支援センターを集約する予定です。保健師の人数が限られているため、各センターに分散しているよりも一か所にまとめた方が機動力が出ますし、今まで行っていた業務も強化していきます。岩間保健センターと友部保健センターは、現在施設の一部を「笠間市障害者福祉センター」として利用していることから、所管を福祉部に移管し、福祉の活動拠点として活用する予定です。

笠間保健センターにつきましては、単独で保健センターとして利用しており、昭和62年に建てたもので、雨漏りやボイラーの故障等もあり、改修にはかなりの費用がかかることから、取り壊す予定です。今後地域の方に説明会を行っていく予定です。市全体の話になりますと、人口減少もあり、維持管理費は税金で賄われますので、今後公共施設を2割削減する目標があります。

また、近くで集まれる公共施設となると、笠間公民館を利用させていただくか、民間では、笠間ショッピングセンターポレポレの会議室等を使っただくことになるかと思えます。

現在虹の家は、放課後児童クラブで使用したいというNPO団体に貸しています。昼間の利用状況も含め、貸していただけるようであれば確認してみます。活動場所については、今後市でも引き続き検討していきたいと思えます。

6 旧井筒屋の活用について

【意見等】

旧井筒屋で工事が始まるが、観光だけではなく、地元の人が活動できるスペースを作ってほしい。

【回答】

旧井筒屋は設計が終わり、工事が始まっている状況です。1階は観光インフォメーション、2階は笠間の偉人や歴史を展示するスペースで、3階は市民の皆さんも使用できるスペースとする予定です。

7 笠間保健センターで行っていた健康診断について

【意見等】

笠間保健センターを取り壊したあと、そこで行っていた健康診断はどうなるのか。

【回答】

保健センターで実施していた分は、従来どおり笠間ショッピングセンターポ

レポレや地区公民館で回数を増やして行う予定です。

8 石切山脈や西念寺を含めた新たな観光コースの設定について

【意見等】

石材会社の石切場が観光コースになっていると聞いた。西念寺等を含めて、観光コースの見直しをしてはどうか。

【回答】

石切山脈は大手の観光会社がツアーを組んで、人が多く訪れています。ただ、あくまで民間の持ちものですので、ご好意で無料開放してくださっている状況です。市では昔からポスターを作ったりして観光PRをしてきました。石のイベントを行った時は、見学会等も行っていました。1回あたり多くて30人から40人が限度でした。市としては、今後もPRしていくつもりです。

西念寺については、市のパンフレットに載っていますし、お寺がいろいろな取り組みを行っていますので、PR関係で連携しています。

また、宿泊となると管理費用がかかりますので、ご夫婦でやれる範囲でやっていくとの話しですので、観光コースにとり入れることは今のところ考えていません。

9 KAPOCA（地域ポイント）について

【意見等】

KAPOCAの申請をした。パンフレットを見たが、どういうときにポイントがもらえて何に使えるか、理解できない。趣旨は何か。

【回答】

ボランティアをはじめのきっかけづくりや、ボランティア活動をされている方の後押しの意図で始めました。市のイベントのボランティアに参加した方に、内容によってポイントが加算され、ポイントがたまったときに笠間のいろいろなものと交換できる制度です。ポイントは登録されたNPO法人に寄付することもでき、NPO法人はそれを自分たちの活動に役立てるという形です。何に使えるかは、広報かさまお知らせ版にも記載してお知らせしています。

また、ボランティアだけではなくて市民の健康づくりの点でも使用しています。現在3,000人程度が利用しています。始めて6年ほど経ちました。最初の1,2年は試験的に行っていました。今は内容も拡大しており、廃油回収でもポイントがもらえます。ボランティア活動から徐々に対応するものを拡大していきます。

10 農道の道路拡張と土地改良事業について

【意見等】

佐白交番の裏、長町のあたりの農道拡張の申請をしたが、平成26年10月8

日付で市長から優先順位があつて当分改修できないとの回答を受けた。しかし、この地区は土地改良を行っていないため、田んぼの耕作放棄地がここ数年で9件ほど増えてしまった。

農政課から地権者に対し、所有している農地を今後も自分で耕作する意思があるか、または土地改良事業に賛同するか等意向調査をしてほしい。隣接する国道50号付近（飯合地区）の赤い鳥居から稲田川までの地区には土地改良事業参加の意向調査を行ったと聞いている。

【回答】

以前国道50号付近（飯合地区）の赤い鳥居から稲田川までの地区に意向調査を行っていて、約7割の方から回答を得て、その内の7割から土地改良事業に対し前向きな回答を頂いています。

今後は、Aさんから依頼のあつた地区の地権者の方に対して、同様の意向調査を行い、事業推進できるか判断していこうと考えています。

ただ、この地区につきましては、ご承知とは思いますが、過去に事業実施に反対があり、断念した経緯があります。事業を実施するにあたっては、受益者の方からの個人負担を伴うものですから、受益者となる皆さんが、多少の負担があつても事業に取り組んでいこうという考えになっていただかないと、市としても事業を進めていくのは難しいのが現状です。

11 人間ドックの助成額について

【意見等】

人間ドッグの料金が昨年より5,000円アップした。去年までは25,000円の補助を受けていたので、市に電話で確認をしたら、総額は同じだが、人数を増やしたので補助額が減額されたと聞いた。補助の枠を増やせばいいのではないか。

【回答】

市全体の予算を編成する上で増額できなかったという現状がございます。高齢者だけではなく子育て支援にもウエイトを置いていく中で、新規の補助も出し始めました。負担が大きくなりますが、我慢していただきたいと思います。説明不足なところがあつたかもしれませんが、ご理解いただきたいと思います。